



発行元  
東京新聞  
南千住東口専売店  
TEL5850-3699  
発行責任者  
鬼塚 佳代子  
TEL090-2657-0300

## 手話を学んで笑顔との出会い

### 「手話を楽しく学んでみませんか？」

区内には聴覚・言語障がいの方が632人おられます。

聴覚障害とは、医学的には、外部の音声情報を大脳に送るための部位（外耳、中耳、内耳、聴神経）のいずれかに障害があるために、聞こえにくい、あるいは聞こえなくなっている状態のことをいい、聞こえかたには一人ひとり大きな違いがあります。しかし、外見上、分かり難い障害であるため、その人が抱えている困難も、他の人からは気づかれにくいことがあります。

聴覚障害者のコミュニケーション方法には、手話、指文字の他、筆談、身振り、空書き（空間に文字を書く方法）、読話（相手の口の動きを見て、話の内容を理解する）などがあります。なかでも手話は、聴覚障害者の生活の中から生み出されてきた言語で、手や体の動きなどでコミュニケーションを取る方法です。同じ表現方法でも、表情や口形、位置や方向、強弱などで意味あいを持たせています。手話は、とくに先天性の聴覚障害者にとって重要なコミュニケーション手段の一つになっています。

一般的に、ろう学校で学んだ人は、独自の文法を持つ「日本手話」を使用する

ことが多く、音声言語を獲得後に失聴した中途失聴者などには、日本語の文法に基本的に沿って手話単語を表していく「日本語対応手話」が好まれます。

荒川区では昭和56年より手話講座を開催して現在は「日本手話」を学べます。受講生は高校生から高齢者の方まで年代は様々です。参加者の中から段階を踏んで手話通訳者になられた方もおります。

初級コースでは日常の簡単な会話ができるようになりまます。講師はろう者の方で手が二人つきます。

### 「手話を学んで文化を知る」

言語の背景には文化があります。手話を学ぶことによって聴覚障がい者の文化を知ることと交友関係も広がります。また、手話は手だけではなく表情豊かに表現することも必要になります。手で言葉を覚えることと脳トレにもなります。



この手話はありがとうを意味しています。大相撲の隠語「ごつつあん」の仕草です。笑顔も一緒です。

全日程参加できるかな？と躊躇される方もおられると思いますが、七割参加されれば次年度中級コースに進級できます。

四月、新しい人と自分と出合いの場所の手話講習会に通ってみませんか。



この手話の意味は？  
正解は講習会で・・・

## 平成29年度 荒川区手話講習会 受講生を募集

対象：荒川区内在住・在勤・在学  
で全日程参加できる方（七割日程参加で次年度進級可）

会場：アクロスあらかわ（荒川2-57-8 都電町屋駅・荒川七丁目電停より徒歩5分）  
受講料：無料※テキスト代等の実費はかかりません。

■初級コース全40回 4/17〜平成30年3月の月曜日・定員50名開講クラス  
（朝クラス10時〜12時・夜クラス19時〜21時）

※更に学びたい方には中級・上級・手話通訳奉仕員養成コースもあります。※初級・中級コースは応募者多数の場合抽選。また、実力により希望クラスを調整する場合があります

### 【申込み方法】

往復はがきの往信裏面に希望のコース・クラスと住所・氏名・年齢・職業・電話番号・応募の動機を、返信表面に自身の住所・氏名を明記して左記までお送りください。

3月10日 金 必着。

お問合せ

南千住1-13-20（荒川区  
社会福祉協議会「手話講習  
会」係

TEL 380213338  
FAXTEL 380213831  
E-mail jigyo@arakawa-sh  
akyu.or.jp

＜往復はがき記入方法＞

<p>〒116-0003 荒川区南千住1-13-20 荒川区社会福祉協議会 手話講習会係 行</p> <p>往信</p>	<p>手話講習会申込み ○○○○コース ○○クラス 住所 ○○○○○○ 氏名 ○○ ○○ 年齢○○ 職業○○○ 電話番号 ○○○○ 応募動機 ○○○○</p> <p>往信はがき裏面</p>	<p>〒116-0000 自宅住所 ○○○様</p> <p>返信</p> <p>返信はがき表面</p>
--	--	---